

---

# アースコード

光天

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

アースコード

### 【Nコード】

N1871F

### 【作者名】

光天

### 【あらすじ】

どこかわからない世界に飛ばされてしまった主人公。どういう物語かはまだ本編に書いてないんで後々書きます。

## FILE0：はじまり

「ここはどこだ・・・？」

それを考え続けて10時間以上たったのだろうか？

まったくわからないのだが考えないと自分が自分でなくなってしま  
いそうで

怖かった。

この世界がどうなってるのかもわからない。

地面は砂しかないようだ。月もない。多分この分だと

10時間以上経っているはずなのになぜかずっと世界が暗いんだ・  
・！

周りは真っ暗でなにも見えない。これだけ時間が経つてると目が慣  
れてくるはずなんだがな・・・

そしてあの音も近づいてくる・・・

ードンッ！ドンッ！

5時間ぐらい前から聞こえていたこの音・・・本能で味方ではなく  
敵だと悟っていた。

携帯はあいからわず圏外のまま。

彼女はこうしてるんだろう？

親は？妹は？弟達は？

ードンッ！

「ああ・・・もうすぐここに着くんだろうな・・・」

なぜか俺は逃げようとしなかった。

なぜか逃げてもダメな気がしたからだ・・・

ードンッ！

小さな光が見えてきた。

地響きをたてていた得体の知れないなにかの目だろうか？

ードンッ！

音はさらに近づいてくる。

死にたくないと思ってるのになんでなにもしないんだよ俺！

体長は15mってとこかな？

どっちかというロボットみたいなやつだ・・・

そのなにかが目の前まで来たときだった。

ーバツ！

目が痛い！なんだこれは?! 光線か？

なぜか冷静に物事を考えれた。

目は開かれる・・・

「なにが起きたんだ・・・?」

ーヒュー・・・

ロボットが止まったような音がした。

ーガタッ！

なんだ？宇宙人なのか？俺は連れ去られて実験台にでもなるのか？

ーザッ！

体が細い・・・女みたいだな。

人間の様な顔立ちをしている。服は戦闘服のような服で覆われてた。

ーバツ！

また光が！光線銃か！？

いや違う。あの手が持っているものは見覚えのある・・・

そう！懐中電灯だ。

「お前は誰だ！？」

俺は勝手に口が動いたようでびっくりした。

「お前こそ誰だ？この国の人間じゃないな？」

ーこの国・・・？なんのことを言ってるんだこの女は？

「この国って何のことだ？日本じゃないのかここは？」

「ニホン？なんのことを言ってるんだ？」

「な！日本じゃないんならここはどこだっていうんだ！？」

「ここか？この国の名前はアトラス共和国。ここはコリアという都市を中心に行っているマハロという土地だ。」

「アトラス？コリア？マハロ？聞いたこともないぞ！ぶざけてんの

か！」  
女がなんかボソボソ言っているようだ。

「ガバ！」

俺はいきなり腕をつかまれた。腕を離そうにも離れない。なんて強い力なんだ！

そのままさっきのロボットみたいなのに乗せられた。

やっぱり連れ去られるのか・・・

実験台か？それとも食われるのか？

俺はそんなことを考えていると明るい光のようなものがみえてきた。

「降りろ。」

俺はロボットから言われるままに降りた。

「付いて来い。」

愛想が悪いと思いつつも従わないとすぐにも殺されそうなのでここは従っておこうと思った。

動いてなかったからか意外ときつい。

「俺は目を疑った。都市はいまの日本より賑やかだった。

なんであんなに外が暗いのにはこは明るいんだ？人もいなかったのにはここはなんで人だらけなんだ？

「聞いてみるか？なぜかこの女とは話したくなかったんだが俺は話しかけてみた。」

「なんなんだここは？」

「ここか？ここはさっき話した都市コリアだ。いまからお前にはこの都市の将軍のザビア様に会ってもらう。」

「わかった。」

「俺はOKを出した。将軍に会えばこの国について聞けると思ったからだ。」

「この2階に将軍がいるから階段を使って行け。」

「お前はこないのかよ？」

「わたしはここに入る権利がないからな」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1871f/>

---

アースコード

2010年12月1日07時15分発行